

(別紙8)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年 4月 3日

【評価実施概要】

事業所番号	O177500147		
法人名	有限会社 やすらぎ		
事業所名	グループホーム コスモス		
所在地	滝川市江部乙町1114番地 0125-75-6586		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成20年3月31日	評価確定日	平成20年4月30日

【情報提供票より】(平成19年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 13年1 月25 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人
職員数	10 人	常勤3人, 非常勤	7人, 常勤換算2.9人

(2) 建物概要

建物構造	木造モルタル 造り		
	2階建ての	1～2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	22,500 円	その他の経費(月額)	4,500 円
敷 金	無		暖房費(9～4月)9,000円
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	350 円	昼食 400 円
	夕食	450 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(3月31日現在)

利用者人数	6名	男性	1名	女性	5名
要介護1	1名	要介護2	2名		
要介護3	2名	要介護4	0名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 83.3 歳	最低	58 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	滝川市立病院。えべおつファミリークリニック。みやこし歯科診療所
---------	---------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

旧民家の改造型グループホームで、一般家庭と同じように部屋の配置や、調度品など馴染みの物があり、ゆったりとした環境の中でその人らしく暮らしている。食事は利用者の好みを把握して、準備や後片付けをできる利用者とともに共同作業にして、水分や摂取量を記録し健康に過ごしている。また、全介助の利用者も一緒に食卓について支援している。全員で外出できるプログラムを設定し、郊外にも出かけて楽しみを共有している。同系列のグループホームと合同のレクリエーションを日常的に実施している。グループホーム内では、利用者同志の助け合いが自然体でなされ、また、犬、猫が家族の一員として役割を果たし、癒しと慰めとなっている。毎月、家族に個別の状況報告書を詳しく記載して送り、好評を得ている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価では9項目に改善点が見られ、事業所として職員は課題に取り組んでいるが各項目とも課題解決が充分とは言えない。再度改善シートなどを利用して検討されることが望まれる。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価の各項目への取り組みは、検討時間に不足が見られ、充分課題を確認していない点もある。ガイドブックの参照や、全職員の参加などさらなる向上が求められる。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は、開催までに至っていない。従って活かした取り組みはない。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族の意見は、毎月発行する状況報告書を通して記載を求め、集約している。さらに、面会時など気軽に話せる間柄になっている。特に、介護計画の作成に活かしている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	農村地帯に立地する事業所で近隣との交流は困難であるが、祭りに参加したり、地域の方々を事業所に招いたり、工夫しながら取り組んでいる。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念を掲げているが、地域密着型サービスとしての内容は見当たらない。	○	地域との係わりは周辺状況から判断して困難にもかかわらず、努力を重ねて実践しているので、理念の中に含めて文章化されることが望ましい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日常の業務の中で理念の実践に向けて取り組み、管理者の口を通して確認している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣に住宅は少なく、日常的な交流は困難であるが、町内会に加入し、町の祭りに参加し、地元の方々を事業所に招いたりして交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者と職員は、協働作業で自己評価の各項目について検討したが、時間不足で取り組みに不備が見られる。さらに、職員全員で課題を見つけて取り組むまでには至っていない。	○	十分時間をかけて検討し、課題を見出して取り組むことが求められる。

滝川市 グループホーム コスモス

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の開催に向けて、委員の協力依頼など試みているが、まだ、開催までに至っていない。	○	身近な関係者から声掛けをし、開催に向けての取り組みを期待する。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所として市の担当者と行き来する機会は不足で、運営推進会議の開催も実施できず、市との連携は不十分である。	○	市との連携をとりつつ、信頼される事業所作りを目指して取り組むことを期待する。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の暮らしぶりについては、「コスモスだより」を作成し写真などを掲載して家族に知らせ喜ばれている。さらに、個別に状況報告書を毎月作成して健康や生活状況など詳しく知らせている。金銭明細も明らかにして報告し、家族に信頼を得ている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護計画の見直しの際、家族の意見記入欄を設け、書面で家族の意見や要望を聞く仕組みになっている。また、それらを運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は少なく、利用者と馴染みの関係作りがなされている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員を段階に応じて育成するための計画はたてられていない。毎月の全体会議の中で必要に応じ研修の場を設けているが、時間が短く、なお研修の記録は整備されていない。外部研修に参加しているが、報告が少ない。	○	職員の質の向上を目指して、内部でまた、同一法人内でさらに、外部を含んで研修の機会を計画的にまた、継続的に企画されることが望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一法人内の事業所と、利用者も含めた交流は日常的に実施している。なお、ほかの事業所へ交流の申し出は入れているが、実現には至っていない。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者が事業所の中で孤立することがなく、短期間で馴染みになれるように、利用者にも協力をして頂き、職員とともに穏やかな生活ができるように支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	事業所が取り組む日常生活支援の中で、畑仕事、調理など笑いながら良好な協力関係がなされ、ともに一軒の家族としてのつながりが自然体で継続されている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの過去の経験を活かした取り組みとし、農作業や調理など、思いを把握して本人本位に支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	介護計画は、利用者本位に家族の希望などを取り入れて作成し、全体会議で職員は活発に意見交換をし、さらに、現状に即した取り組みをしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月の全体会議で個別に検討し、3ヵ月毎に見直しをしている。ただし、本人の状況の変化には即対応している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の要望に応じて、郊外に位置するので外出する機会を多くし、柔軟な支援がなされている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	馴染みの医師、看護師など気軽に話せる間柄で、利用者の健康管理にはことさら丁寧に対応している。家族が通院介助をしている場合もある。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者の状況により、いつでも話し合いができる体制になっている。過去に看取りの体験もした。	○	入居時に話し合いができるような取り組みと書面で確認することが求められる。
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	写真の掲載や、掲示物など、本人と家族に了解を得て、プライバシーに配慮をしているが、書面での同意は得られていない。	○	入居時に書面で同意を得るなど工夫をし、トラブルのないように配慮されたい。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者は、自分の家に住んでいる気持ちで職員はその人らしくを支援している。利用者の自由を束縛しないで希望に添うようにしている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みを把握して、個別に食事が楽しみになるように準備をし、職員と協働作業で食卓を囲んでいる。食事介助もゆったりとされている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員の都合で時間帯を決めないで、自由に入浴を支援している。利用者の中には毎回一人で入浴を楽しんでいる人もいます。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	過去の生活の得意とするところ、また家事の分担など、さらに、趣味を活かした取り組みなど事業所内で支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者はできる限り外出を楽しみ、買物、散歩など日常的に戸外に出かける機会をつくっている。年間行事を多く取り入れている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関に鍵を掛けていない。開閉がわかるように呼び鈴をつけている。また、玄関前に犬を飼っている。		

滝川市 グループホーム コスモス

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災を想定しての避難訓練は、今年度実施していない。地域の方々へは協力を依頼しているが具体性に欠けている。	○	昼夜を問わず消防と連絡を取り、避難訓練の実施が具体化されることが求められる。また、記録の整備も合わせて取り組みを期待する。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎回の食事は一人ひとりの状態に応じて、食べる量を把握している。また、記録が整っている。職員が（栄養士資格あり）点検を行ない、バランスの良い食事を提供している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとって広いスペースではないが、犬、猫のペットに癒され、居間には、利用者の共同制作品の掲示など暮らしに広がり工夫している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はそれぞれ家庭で使用していたタンスやベッドを置いて、やわらかい雰囲気落ち着いた部屋になっている。家具の配置は良好であるが、古いゆえに、清掃をこまめにし、清潔に過ごせるように支援が望まれる。	○	居室で各自が快適に過ごせるように、掃除など利用者とともに行なうなど取り組みを期待する。

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。